

特集
通潤橋を
学ぼう！

今年山都町で「棚田サミット」が10月に開催予定で、ますます注目がされる通潤橋。郷土の歴史を語る上でも重要であり、現在も白糸地区へ水を送り続ける生活を支える橋でもあります。本館の郷土史コーナーには、「橋」に関する書籍を集めたコーナーがあり、所蔵する本の冊数は日本有数です。町外からもその歴史にふれようと、本に関して多くのお問い合わせがあります。また、町内の子ども達も通潤橋について深く学んでいます。蘇陽小5年の鍋島優菜さんは、昨年、授業・現地見学・トムソーヤくらぶ出前授業で通潤橋について学び、そのことを作文にまとめました。優菜さんは通潤橋にどのような思いを抱いたのでしょうか。通潤橋の本当の役目について気づいた、優菜さんの作文を紹介します。

「通潤橋の学習をして」

蘇陽小学校 鍋島 優菜



私は、社会科の学習で、山都町の宝一つ見つけました。それは、通潤橋です。通潤橋に行ったり通潤橋史料館、円形分水の見学をしました。トムソーヤくらぶの通潤物語のワークシヨップにも参加しました。「虹の花咲く通潤橋」という本も読みました。私は、初めて通潤橋に登りました。あまりにも高くて、足下がぶるぶるふるえました。通潤橋の下にいる人たちが米粒に見えました。通潤橋に立つと、石の管が三本、はつきりと見えました。私は、それを見たとき、水を白糸台地に流していることが分かり感動しました。石と石をくっつけるために一つの石に七十回以上もたたきこんでいたんだと思うと気が遠くなりました。たくさん石が重なってあったからです。たくさん知恵が重なって水道管ができたことがわかりました。通潤橋の左側には、じょうぶな水だめがありました。六キロメートルもはなれた円形分水から、白糸台地をうるおすためにひかれてきた水です。通潤橋をわたろうとすると、急な下り坂になっていました。「こちら側が高くなっているのは、水だめからいきおいよく水を向こう側の白糸台地に流すためです。」と、先生が言われました。昔の人はすごい知恵をもっているなと思いました。水がふき上がってくるところには、古い家があつて、しっかりと作り方が書いてありました。「今日は放水ないのかな。」と思っていると、先生が「放水は、通潤橋の水管につまった葉っぱや草をきれいにするためにするんですよ。」と教えてくれました。私は、そのとき初めて通潤橋が放水を楽しむための橋ではないことに気づきました。自分がまちがっていたことをはずかしいなと、思いました。私は、このことを聞いて、もっともっと観光客の人に伝えたいと思うようになりました。私は、山都町の子どもだから、そのことをつたえるべきに気があります。二十年後、三十年後は私たちの手で通潤橋を守り続けなければならぬからです。しつこい他にも、通潤橋が完成するまでは、失敗の連続でした。でも、みんなで支え合つてのりこえてきたことが分かりました。「あきらめたらいかん。」私が、通潤橋の学習をして、布田保之助や白糸台地の人たちから、学んだ心です。昔から、どっしりと立ち続けている通潤橋は、昔の人たちの知恵と力があつてできあがつた橋で、白糸台地の人たちの命を支えた橋なのです。観光のための橋ではないのです。あきらめたらいかん心を大切にしたいです。

図書館情報

—読書とは未来の自分に種をまくことです—

●お問い合わせ
・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
●休館日：本館・蘇陽（月曜日・祝日・GW・お盆・年末年始）
清和（GW・お盆・年末年始）



「うまいぞ!シカ肉
捕獲・解体・調理・販売まで」
まつい けんいち ふじき のりひこ
松井 賢一 藤木 徳彦
農文協
分類 648

農作物を荒らし、近年その数が山都町でも増え続けている「シカ」。地域資源として有効活用できないか、地域で取り組みが始まっています。やっかいものを有効資源へ!

6月のおすすめ図書

「新装版 園芸家の一年」



カレル・チャペック
中央公論社
分類 989

チェコで最も著名な作家であり、SF文学において「ロボット」という言葉を生み出したことで知られる著者。趣味の園芸の世界にどっぷりとハマった、悲喜こもごものエッセイです。新緑の季節におすすめの一冊です。

わくわく号 6月の運行予定



蘇陽地区		
月日	巡回場所・時間	
6月6日(水)	大野地区(西部交流センター)午前10:30~	
6月7日(木)	東竹原地区(老人いこいの家前)	午前11:00~
6月8日(金)	二瀬本地区(コミュニティーセンター)	午前11:30~
清和地区		
月日	巡回場所・時間	
6月12日(火)	(午前)清和小・清和中 (午後)清和総合支所	
6月13日(水)	(午前)花高原・井無田公民館 (午後)支援ハウス	

※天候や道路状況により予定が変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力下さい。
巡回場所での滞在時間は約30分です。

河野美代子氏
講演会開催のお知らせ



産婦人科医、河野美代子氏の講演会が矢部高校で行われます。河野さんは、現場で多くの子ども達の「性」の問題と直面し、「さらば、悲しみの性」など中高生の「性」に関する著書を多く執筆しています。

子どもや孫の「性」の問題に、私たちはどのように向き合えば良いのでしょうか。一般の方も参加できますので、ぜひご来場ください。

場所:矢部高校
日時:6月14日(木)午後1時45分から(午後1時開場)

ミニミニお楽しみ会で
子ども達は大喜び!

4月22日、図書館ホールでミニミニお楽しみ会が行われました。てあそび・てぶくろ人形のおはなし・大型絵本のよみかたりなどに子ども達は大喜び。お話に聞き入っていました。そして、きり紙あそびで作った可愛い飾りと、楽しい思い出をお土産に持って帰りました。

